

セミナー受講のご案内

お申し込み

ホームページの申込書（Excel 形式）でメールにてお申し込みください。
3ページの申込書にて FAX でもお申し込みいただけます。

お申し込み順での先着順の受付となります。

受付開始 4月・5月分を 平成26年2月28日（金）から
6月分以降は 平成26年3月14日（金）から受付します。

（それぞれ朝9：00からの受付となり、9：00以降に届いた申込書での先着順となります。）

なお、受付開始時刻前にお送り頂いた場合には、受付開始時刻との差分を加算した時刻にお送りいただいたものとして取り扱わせていただきます。あらかじめご了承ください。）

※ 例：8：50にお送りいただいた場合は、9：10に到着したものとみなします。

- ・ 受付締切 原則としてコース開講5週間前までにお申し込み下さい。
（定員に空きがあるコースについては開講5週間前を過ぎても受付可能な場合がございますので、当センター企画課までお問い合わせ下さい。）
- ・ 受講のキャンセル・変更は開講21日前までにキャンセル理由を添えて、メールまたは FAX でご連絡下さい。
- ・ 開講の21日前までに受講キャンセルのお申出のない場合は、受講されない場合でも受講料をお支払いいただきますのでご注意ください。
- ・ お申し込み後10日以内に郵送にて受講の可否をお知らせいたします。
（但し、4月末まではコース開講の5週間前となります。）

キャンセル待ちの場合

キャンセル待ちの方にはキャンセルが発生した場合のみご連絡します。

ご連絡は原則としてコース開講の21日前頃までとなります。

（キャンセル可能な時期が開講日の21日前までのため）

キャンセル待ちの方が一定数以上になればコースの増設を検討いたします。
その際は、キャンセル待ちの方への先行受付を行います。

受講決定

コース開講5週間前までに受講案内が送付されます。受講案内には、受講料
払込用紙（ゆうちょ銀行払込取扱票）、受講票等が同封されています。

受講料払込

- ・ 開講の21日前までに、受講料払込用紙（ゆうちょ銀行払込取扱票）で
払込み下さい。

（受講料納入後、開講の21日前までの間に受講をキャンセルされた場合は、口座振込により受講料をお返しいたします。

また、納付された受講料は、他の日程・コースへ充当することは出来ません。当センターの都合によりセミナーを中止する場合は受講料を返還いたします。）

受講

- ・ 受講の受付は受講票に記載された各講習場所（教室等）にて行いますので、9時15分までに教室等にお入り下さい。受講の際には受講票をご用意下さい。各コース案内に記載の持参品についてもご持参ください。
- ・ 講習時間は9：15～16：15です。（昼休みは12：15～13：15です。）

修了

- ・ 受講修了者には職業能力開発促進法に基づく修了証を発行いたします。
（セミナーの8割以上の時間に出席され、かつ12時間以上出席された場合に修了証が発行されます。）

オーダーセミナーのご案内

事業主、事業主団体等のご要望により特別に計画実施するコースです。グループ内、企業内研修の一環として是非ご利用ください。

コース内容、日程、日時等をお打ち合わせの上実施いたします。なお、実施定員は10名程度の人数でお願いいたします。詳細はご相談下さい。

当施設が実施する能力開発セミナーは、主に中小企業の在職者の方を対象に設定しております。

※ 当パンフレットに掲載の外部担当講師の所属等は平成26年1月現在のものです。

※ 持参品等でテキストの金額が入っているものは平成26年1月現在の価格です。

能力開発セミナー受講予定の皆様へ

中部職業能力開発促進センター

企画課

TEL 0568-79-0555

FAX 0568-47-0678

1 受講について

- ① 受講料についてはコース開講21日前までにお振込み頂くようお願いいたします。
- ② 受講のキャンセルはコース開講の21日前までにメールまたはFAXでお願いします。
(開講の21日前までに受講キャンセルのお申し出がない場合は、受講料をお支払いいただきます。)
- ③ 受講料納入後、コース開講の21日前までの間に受講をキャンセルされた場合は、口座振込により受講料をお返しいたします。
*当センターの都合によりセミナーが開講されない場合は、納入された受講料をお返しします。
それ以上の責は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2 受講者変更について

*受講者の変更がある場合にはFAXまたはメールで変更後の受講者氏名と生年月日をご連絡ください。

3 受付場所・講習時間について

- ① 講座初日は、受付を各講習会場にて行いますので9:15までに教室にお入り下さい。
- ② 講習会場はA棟1階玄関ホールの電子掲示板にコース名及び教室を掲示しておりますので、指定の教室でお待ちください。(会場は9:00より開場致します。)
- ③ 修了証発行のため講習開始時に「氏名」、「生年月日」を再確認いたしますのでご了承ください。
- ④ 講習時間は、9:15～16:15(12:15～13:15は休憩)です。

4 ご持参頂くもの

- ① 持参いただくものは、受講票、筆記用具等、その他セミナー案内の「持参品」欄に指定があるものです。
男性用更衣室はC棟2Fに、女性用更衣室は多目的実習棟に用意してあります。

5 電話の取次ぎ及び携帯電話について

- ① 受講者の外部からの連絡のお取り次ぎや伝言は、緊急の場合を除いて致しかねますので、ご了承ください。
- ② 能力開発セミナー受講中は携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定をお願いいたします。

6 昼食について

- ① センター内には食堂がありますので、ご利用ください。(土日祝日は営業していません。)
- ② お弁当を持参された方は休憩室(B122)をご利用ください。

7 研修棟のご利用について

- ① 当センターには、研修棟がありますのでご活用下さい。(バス・トイレ・TV・空調完備のシングルルーム 約30室 一泊 3,000円 浴衣・スリッパは備え付けてありますが、洗面用具(タオル・石けん・歯磨き等)はご持参ください。)
- ② ご利用のお申し込みは講習の受講が決定しましたらパンフレットに付いている研修棟利用申込書を使ってお申込ください。(申込書は能力開発セミナーホームページ <http://www3.jeed.or.jp/aichi/>からもダウンロードできます。)
- ③ 利用者の方の朝食、夕食は予約制です。(朝食:300円 夕食:700円)
- ④ 土・日・祝日は研修棟が閉館となります。金曜日または祝日の前日は、チェックアウト時間以降の研修棟のご利用はできません。予めご了承ください。

8 駐車場について

- ① 当センターには、利用者のための駐車場・駐輪場がありますので、ご利用ください。

9 その他

- ① 当センターは転倒防止上、スリッパ・サンダル・ハイヒール履きを禁止しておりますので、ご協力をお願いいたします。

平成26年度・能力開発セミナー申込書

中部職業能力開発促進センター 所長 殿

平成 年 月 日

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、受講の申込みをします。

■申込企業名等記入欄

企業名 (個人申込の場合は記入不要)				受講区分 (該当に○を)	1.会社からの指示による受講 (注1) 2.個人での自己受講	
請求書等 送付先	〒 -					
TEL	() -	FAX	() -	業 種		
申込担当者の 部署及び氏名	部 課			企業規模 (該当に○印 を)	1 ~ 29人	30 ~ 99人
					100 ~ 299人	300 ~ 499人
				500 ~ 999人	1000人以上	
メールアドレス						

○ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な情報を利用目的の範囲内で利用させていただきます。

○ ご記入いただいた個人情報は、能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー等の案内に利用させていただきます。

■受講申込コース欄 (※欄は記入しないで下さい。)

受付状況を当センターで記入して返送します。

受付番号	コース番号	コース 開始日	コース名	ふりがな 受講者氏名	生年月日	訓練に関連する 経験・技能等(注2)	受講/待ち
※		/			西暦 .		※
		/			西暦 .		
		/			西暦 .		
		/			西暦 .		
		/			西暦 .		
		/			西暦 .		
		/			西暦 .		

注1 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

注2 訓練を進める上での参考とさせていただきます。今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入下さい。
(例: 切削加工の作業に約5年間従事)

注3 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談下さい。

■申込手順

- 上記の記入欄(太枠部分)に必要な事項を記入し、電子メールまたはFAXにてお送り下さい。
- 申込後10日以内に受講の可否をお知らせします。
- コース開講5週間前頃に受講票、受講料請求内訳書、郵便振替用紙、受講案内を郵送しますので開講21日前までに受講料をご入金下さい。

■キャンセルする場合

- コースの受講を取りやめる場合は、なるべく早くキャンセルの連絡をお願いします。
キャンセルは、受講の可否をお知らせした用紙あるいは請求書・受講票等にキャンセル理由及びキャンセルの旨を大きく書き入れ必ずメールまたはFAXでご連絡下さい。
開講日の21日前までにキャンセルのご連絡がない場合は、受講の有無に関わらず受講料をお支払いいただきます。
- 受講料納入後、開講の21日前までの間に受講をキャンセルされた場合は、口座振込により受講料をお返しいたします。
- コースをキャンセルする方で宿泊のご予約をされている方は、あわせて宿泊もキャンセルしてください。

■キャンセル待ちの繰上げ連絡について

キャンセル待ちの方にはキャンセルが発生して受講可となる場合のみご連絡します。
ご連絡は原則としてコース開講の21日前頃までとなります。(キャンセル可能な時期がコース開講21日前までのため)

■その他

研修棟利用(宿泊)のお申込みは、別紙の申込書を使って、能力開発セミナーの受講が決定してからお申し込み下さい。

■お申し込み先

メール seminar@chubu-center.ac.jp 左記アドレスに入力した申込書を添付ファイルでお送り下さい。

FAXの場合は 0568-47-0678 にお送りください。

■お問い合わせ先

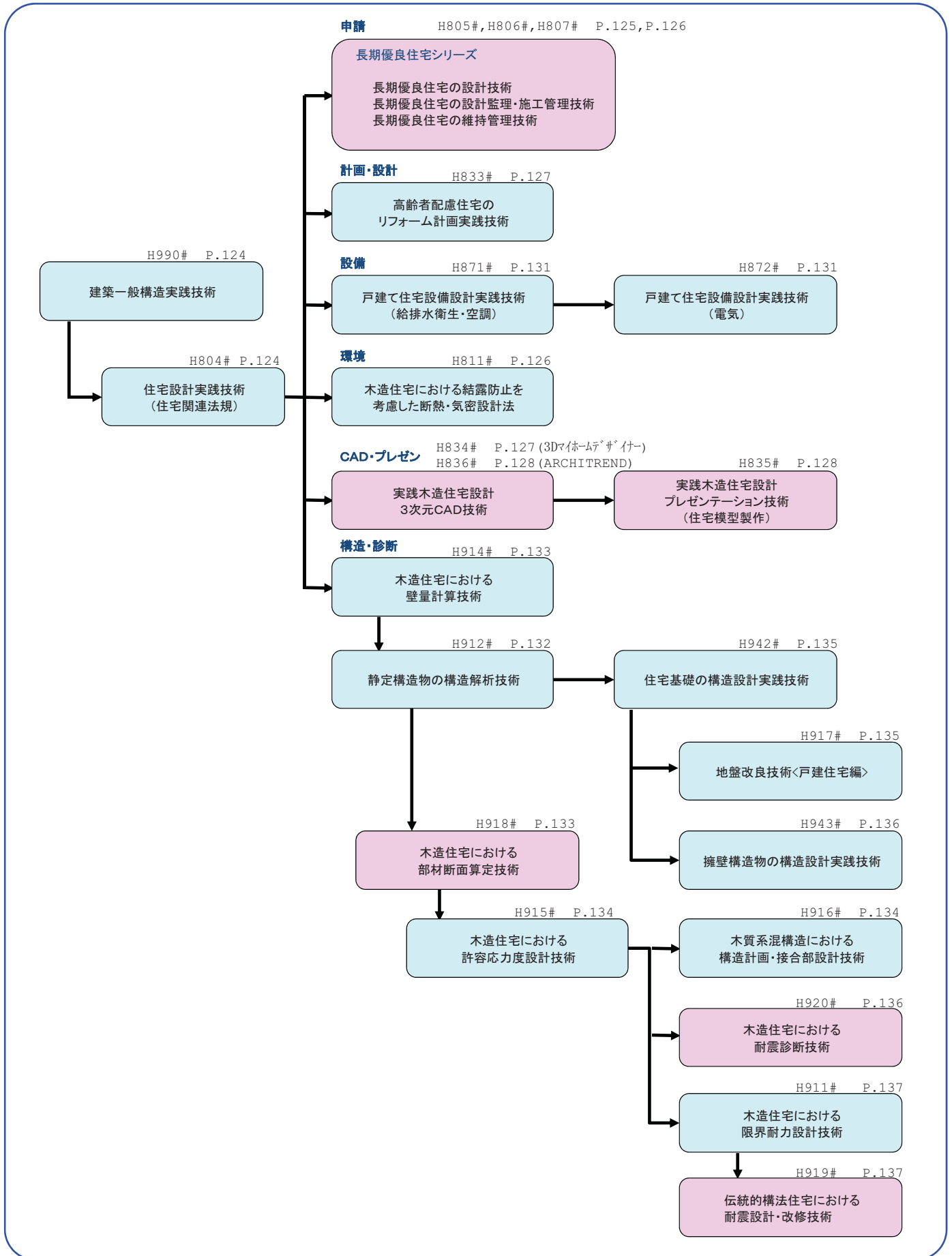
〒485-0825 愛知県小牧市下末1636-2 中部職業能力開発促進センター 企画指導部 企画課 TEL0568-79-0555

■受付期間 4月・5月開始コース : 平成26年2月28日(金)9:00から受付開始します。

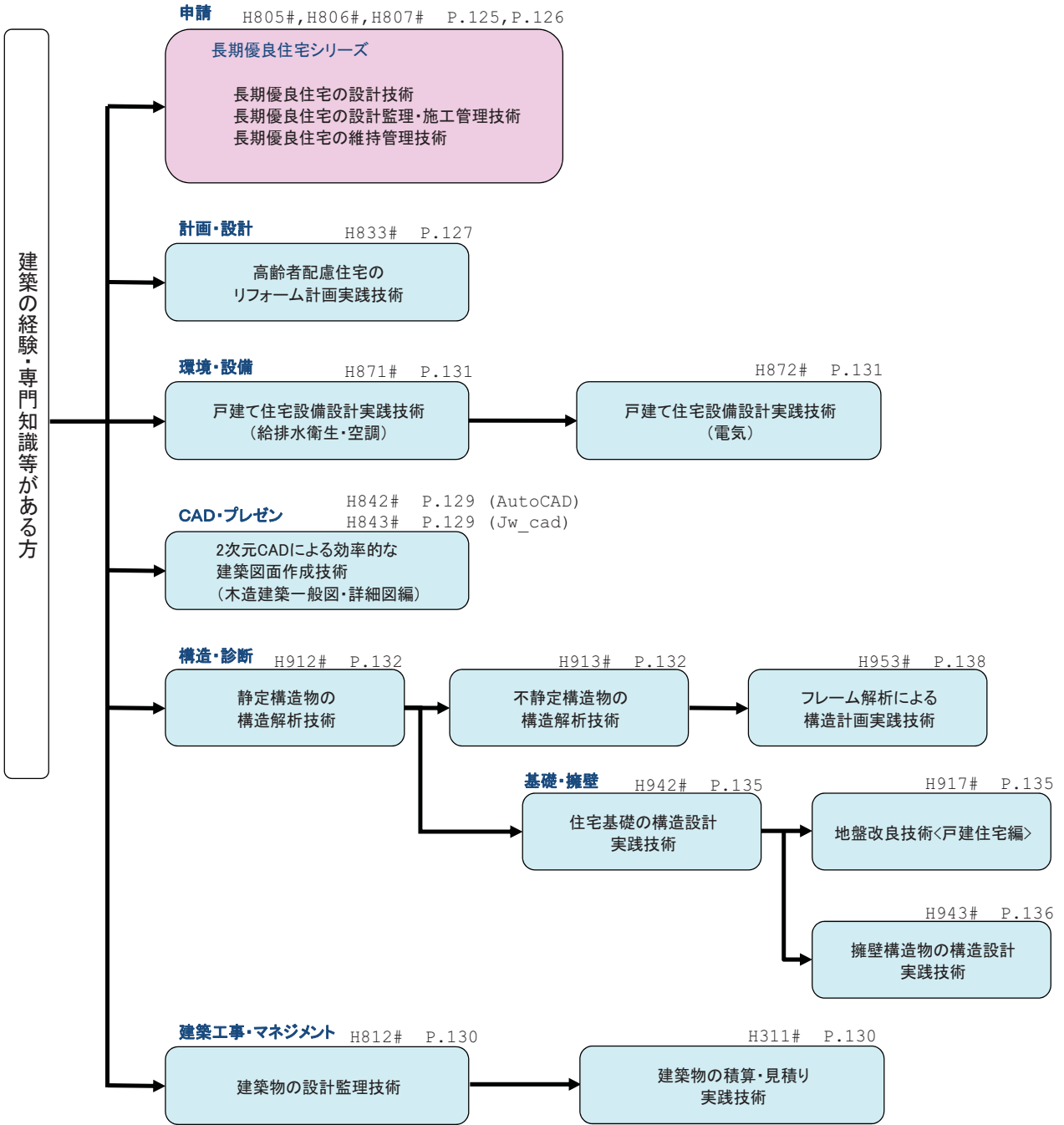
6月以降の開始コース : 平成26年3月14日(金)9:00から受付開始します。

※ 受付開始時刻前にお送り頂いた場合には、受付開始時刻との差分を加算した時刻にお送りいただいたものとして取り扱わせていただきます。(例:8:50にお送りいただいた場合は、9:10に到着したものとみなします。)

木造住宅設計技術者向けコース



建築意匠設計技術者向けコース



長期優良住宅の設計技術

新規コース

定員 10人
受講料 14,500円

訓練内容

長期優良住宅の計画・設計・施工管理の高付加価値化をめざして、設計業務の一連の流れで設計の手順や申請、管理業務などの実務的な技術を総合的に習得します。

- 長期優良住宅とは
 - 現在の長期優良住宅普及とその動向
 - 補助金や税制優遇措置等の活用
 - 品確法における住宅性能表示
 - 関連法規との関係
 - 瑕疵担保履行法
 - 省エネ法
- 長期優良住宅認定基準とその解釈
 - 戸建住宅編
 - 住戸面積
 - 耐震性
 - 居住環境
 - 省エネルギー性
 - 維持管理対策
 - 劣化対策
 - 維持保全計画
- 長期優良住宅申請概要と申請図書一覧
 - 長期優良住宅の申請概要
 - 長期優良住宅の申請の流れ
 - 通常の確認申請との違い
 - 長期優良住宅の申請図書一覧
 - 長期優良住宅の申請に必要な図面
- 長期優良住宅の設計実習
 - 各部位の設計方法
 - 基礎
 - 土台・軸組み
 - 小屋組
 - その他
 - 図面の検証
 - 認定基準との整合
 - 記載事項の確認
 - 指摘事項への対応
- まとめ
 - 確認・講評
 - まとめ

前提知識等

「住宅設計実践技術（住宅関連法規）」を受講された方、または同等の知識を有されている方。（居住系コースフローをご参照ください）

担当講師

堀 敏男（ランドマーク株式会社）

コース番号
H8051

日程
(2日間コース)
6/7(土),21(土)

持参品

電卓、筆記用具等
次のテキストを用意してご持参ください。

「(長期優良住宅の概要資料) 長期優良住宅認定等に係る技術審査 申請図書作成講習会テキスト」
(一社)住宅性能評価・表示協会
3,000円(税込)

「木造住宅のための住宅性能表示 -基本編- -構造編- -申請編-」
(公財)日本住宅・木材技術センター
4,100円(税込)

「木造軸組工法住宅の横架材及び基礎のスパン表〔増補版〕」
(公財)日本住宅・木材技術センター
4,200円(税込)

長期優良住宅の設計監理・施工管理技術／長期優良住宅の維持管理技術においても同じテキストを利用します。

木造住宅設計技術

居住系

長期優良住宅の設計監理・施工管理技術

新規コース

定員 10人
受講料 14,500円

訓練内容

長期優良住宅における設計の監理力の技能高度化をめざして、一連の業務（設計～施工）の重要事項を理解するとともに、施工時の問題を事前に防ぐための設計監理手法及び適合確認や工事報告等の実務的な技術を習得します。

- 設計監理・施工管理の目的
 - 現在の長期優良住宅普及とその動向
 - 長期優良住宅にかかわる各種手続きと流れ
 - 長期優良住宅の設計監理・施工管理業務
 - 工事着工から引渡しまでの流れ
 - 長期優良住宅にかかわる各種検査
 - 検査の時期と検査内容
 - 竣工検査・完了確認から引渡しまで
- 設計監理・施工管理のポイント
 - 耐震等級
 - 劣化対策等級
 - 維持管理対策等級
 - 省エネルギー対策等級
- 監理・管理実習
 - モデル物件の仕様確認
 - 工事監理報告書作成演習
 - 工事監理項目と記載図書との確認
 - 工事監理報告書作成
 - 施工状況現場検査報告書の作成実習
 - 施工状況現場検査項目の確認
 - 施工管理項目の確認
 - 施工状況現場検査報告書作成
 - 工程管理
 - 維持管理の手法
 - 各維持保全の方法の基準
 - 建築物全体の点検・修繕時期と修繕に係る資金計画
 - 維持保全の事例
- まとめ
 - 確認・講評
 - まとめ

前提知識等

「長期優良住宅の設計技術」を受講された方、または同等の知識を有されている方。（居住系コースフローをご参照ください）

担当講師

堀 敏男（ランドマーク株式会社）

コース番号
H8061

日程
(2日間コース)
7/5(土),19(土)

持参品

電卓、筆記用具等
次のテキストを用意してご持参ください。

「(長期優良住宅の概要資料) 長期優良住宅認定等に係る技術審査 申請図書作成講習会テキスト」
(一社)住宅性能評価・表示協会
3,000円(税込)

「木造住宅のための住宅性能表示 -基本編- -構造編- -申請編-」
(公財)日本住宅・木材技術センター
4,100円(税込)

「木造軸組工法住宅の横架材及び基礎のスパン表〔増補版〕」
(公財)日本住宅・木材技術センター
4,200円(税込)

長期優良住宅の維持管理技術においても同じテキストを利用します。

木造住宅設計技術

長期優良住宅の維持管理技術

新規コース

定員 10人
受講料 14,500円

訓練内容

住宅施工の設計及び施工管理手法の伝承をめざして、長期優良住宅に関する一連の業務を理解し、施工管理・維持保守に必要な実務的な技術を習得します。

1. 維持保全の目的・計画
 - (1) 現在の長期優良住宅普及とその動向 (2) 長期優良住宅認定基準とその解説
 - (3) 認定に必要な申請・義務
 - イ. 長期優良住宅認定を受けた計画に基づく建築工事の実施
 - ロ. 住宅の維持保全とその記録
 - ハ. 長期優良住宅認定を受けた計画の変更、売買に伴う手続き
 - ニ. 所管行政庁への報告義務
 - (4) 維持保全の計画
 - (5) 設計時に考慮すべきその他の事項
 - イ. 建築物全体の点検・修繕時期と修繕に係る資金計画
 - ロ. 相続手続き等その他注意点
2. 維持保全基準と方針
 - (1) 維持保全方法の基準とその解説
 - イ. 維持保全の方法とその基準
 - ロ. 認定長期優良住宅における記録の作成保存について
 - (2) 修繕の方針と方法
 - イ. 不具合部位の修繕方法
 - ロ. 修繕費用について
 - ハ. 修繕記録に必要な項目
3. 維持保全実習
 - (1) 維持保全記録の作成
 - イ. 点検・修繕スケジュールの確認
 - ロ. 点検と診断方法の立案（起こりうる不具合の整理）
 - (2) 点検・修繕記録の作成
 - (3) 不具合等の発生時の対応方法
 - イ. 不具合等の発生時の対応手順
 - ロ. 住宅性能評価と長期優良住宅の認定との関係
 - ハ. 住宅瑕疵担保履行法
4. まとめ
 - (1) 確認・講評 (2) まとめ

前提知識等

「長期優良住宅の設計監理・施工管理技術」を受講された方、または同等の知識を有されている方。（居住系コースフローをご参照ください）

担当講師 堀 敏男（ランドマーク株式会社）

コース番号
H8071

日程
(2日間コース)
8/2(土), 23(土)

持参品

電卓、筆記用具等
次のテキストを用意してご持参ください。

「(長期優良住宅の概要資料) 長期優良住宅認定等に係る技術審査申請図書作成講習会テキスト」
(一社)住宅性能評価・表示協会
3,000円(税込)

「木造住宅のための住宅性能表示 - 基本編 - - 構造編 - - 申請編 -」
(公財)日本住宅・木材技術センター
4,100円(税込)

「木造軸組工法住宅の横架材及び基礎のスパン表〔増補版〕」
(公財)日本住宅・木材技術センター
4,200円(税込)

木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法

定員 10人
受講料 8,500円

訓練内容

住宅設計における高付加価値化をめざして、断熱気密工法と結露防止（防露）に関して平均U値（外皮平均熱貫流率）による断熱設計とその評価技術を習得します。

1. 結露防止のための断熱工法
 - (1) 熱貫流、熱伝導、熱伝達 (2) 熱貫流量と部材表面温度の算出
 - (3) 湿度
 - イ. 湿り空気線図
 - ロ. 気温と飽和水蒸気量、相対湿度、絶対湿度
 - ハ. 露点温度、表面結露
 - (4) 断熱工法の主要な仕様 (5) 夏型結露（内部結露）と高断熱工法との関係
2. 断熱設計実習
 - (1) 断熱性能の目標（各種基準、性能レベル）と仕様設定
 - (2) 平均U値（外皮平均熱貫流率）算出の目的と計算手順
 - (3) 平均U値計算実習 (4) 断熱性能評価と改善策
 - (5) 気密化の目的と気密工法の主要な仕様 (6) 断熱・気密工法に関する留意点
 - (7) 実務的な防湿設計法
 - (8) 高断熱・高气密以外の結露防止要素、住宅計画上の留意点

前提知識等

「住宅設計実践技術（住宅関連法規）」を受講された方、または同等の知識を有されている方。（居住系コースフローをご参照ください）

使用機器

パソコン

コース番号
H8111

日程
(2日間コース)
8/7,8

持参品

関数電卓、筆記用具等